

1. プログラム名：工作・実験の安全

2. 目的：

- 工作・実験等の安全対策の重要性を理解する。
- どのようにすれば工作・実験等の安全が確保できるかを考える。
- 事故発生時にどのように対処すべきかを知り、実施できるようにする。

3. 内容

| 内容 | 活動 | 活動の目的 | |
|-------------------------------------|--------------------------|----------------------------|--------------------------------------|
| 1. 安全 な工作・実 験の計画 (3時間) | 1. 工作・実 験の計画 | 安全を考慮しながら工作・実験の 計画をたてる。 | 安全面に配慮しながら工作・実験の計 画をたてる。 |
| | 2. 予備実 験 | 立案した計画に沿って予備実験 を行う。 | 立案した計画に危険がないかを確認 する。 |
| | 3. 計画の改 善 | 危険が減るように計画を改善す る。 | 予備実験をもとに、危険が減り、事故 が起こらない方法を考える。 |
| 2. 事故対 策 (3時間) | 1. 事故の想 定 | どんな事故が想定されるか考え る。 | 事故は起こるという心構えで、いろい ろな事故の可能性を考えてみる。 |
| | 2. 事故の対 処法 | 想定した事故の対処法を考える。 | 適切な対処法を調べ、必要な準備を行 う。 |
| | 3. 対処法の 試行 | 対処法を試行してみる。 | 実際に事故が発生した場合に行うべ きことを試行する。 |
| | 4. 事故発生 時の連絡体 制の確認 | 事故発生時の連絡体制を確認す る。 | 事故が発生した場合に迅速に必要な 連絡がとれるようにする。 |

4. 場所：体験学習室等

()内の時間は活動に必要なおおよその時間を示す。